

# カペシタビン+BV療法(カペシタビン+アバスチン)

	Day1	8	15	21
カペシタビン <b>2000mg/m<sup>2</sup></b> 1日2回経口内服 14日内服7日休薬	タより		朝まで	
生理食塩液100mL + BV <b>7.5mg/kg</b> 30~90分点滴静注	午前			

1サイクル21日

## C法について

体表面積: 1.36m<sup>2</sup>未満 1200mg/回  
 1.36m<sup>2</sup>以上1.66m<sup>2</sup>未満 1500mg/回  
 1.66m<sup>2</sup>以上1.96m<sup>2</sup>未満 1800mg/回  
 1.96m<sup>2</sup>以上 2100mg/回

※推定Ccrにより減量基準はないが、30mL/min  
 以下は投与不可  
 (推定Ccrが40~60の場合減量することあり)

# 副作用

カペシタビン副作用の骨髄抑制、食欲不振、下痢、口内炎、色素沈着、手足症候群に加え、高血圧、尿蛋白、創傷治癒遅延あり。

・BP150/90を超えることが多い場合は、降圧剤開始、もしくは強化する。

※出血、創傷治癒遅延の影響から、手術や抜歯の予定がある場合、休薬を計画する。

## • 選択基準

高齢者で強力な治療が受けられない患者。(副作用を抑えながら現状維持を希望する。)

末梢神経障害、下痢がgrade3となり、L-OHP、CPT-11が入れられない患者。